

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	実用英語
科目基礎情報						
科目番号	0299		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	制御情報工学科		対象学年	5		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	Basic Literacy for the Sciences (Kinseido)					
担当教員	安部 規子					
到達目標						
1. 科学や工業に関する語彙を身につけること。 2. 科学や工業をトピックとする平易な英文を読んで理解できること。 3. 科学や工業に関する語彙と適切な表現を使い、平易な英文が書けること。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	語彙	語の基本的な意味に加えて、科学的工業的な文脈においても意味がわかる。	語の基本的な意味がわかる。		語の基本的な意味がわからない。	
評価項目2	読解	単語を調べなくてもなくても英文の内容が理解できる。	単語を調べれば、英文の意味がわかる。		単語を調べても英文の意味がわからない。	
評価項目3	作文	適切な語彙と表現を使って正しい英文が書ける。	一部手直しすれば、適切な語彙と表現を使って正しい英文が書ける。		適切な語彙と表現を使って正しい英文が書けない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	この授業では、科学や工業に関する平易な英文を読みながら、基本的な専門用語を身につけるとともに、重要な文法項目を復習し、適切な語と表現を用いて科学や工業に関する平易な英文が書けるようになることを目標としている。					
授業の進め方・方法	授業はテキストに沿って進める。また、毎時間工業に関する語彙と表現を学習する課題を課すので、必ず翌週に提出すること。					
注意点	(1) 点数配分：中間試験と定期試験で80%、課題で20%とする。 (2) 評価基準：60点以上を合格とする (3) 再試は行わない。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	Introduction Unit 1 Numbers		5桁までの数字が英語で読める。 文の構造が理解できる。	
		2週	Unit 2 Mathematics		数学に関する英語を理解する。 名詞の用法を理解する。	
		3週	Unit 3 Mathematical Symbols		英語で簡単な数式が書ける。 英語の時制を理解する。	
		4週	Unit 4 Science		様々な科学の分野の名称を英語で理解する。 現在完了の用法を理解する。	
		5週	Unit 5 Engineering		工学に関する英語を理解する。 不定詞の用法を理解する。	
		6週	Unit 6 Wind Power		風力エネルギーに関する英語を理解する。 助動詞の用法を理解する。	
		7週	Unit 7 Solar Power		太陽エネルギーに関する英語を理解する。 動名詞の用法を理解する。	
		8週	Unit 8 Earthquake		地震に関する英語を理解する。 分詞の用法を理解する。	
	4thQ	9週	Unit 9 Hurricanes		台風やハリケーンに関する英語を理解する。 受動態の用法を理解する。	
		10週	Unit 10 Volcanos		火山に関する英語を理解する。 関係代名詞の種類を理解する。	
		11週	Unit 11 Wi-Fi		Wi-Fiに関する英語を理解する。 関係代名詞の用法を理解する。	
		12週	Unit 12 Robots		ロボットに関する英語を理解する。 前置詞の用法を理解する。	
		13週	Unit 13 Additive Manufacturing		製造や加工に関する英語を理解する。 冠詞の用法を理解する。	
		14週	Unit 14 Elements		元素に関する英語を理解する。 比較の用法を理解する。	
		15週	Unit 15 Matter and Energy		物質やエネルギーに関する英語を理解する。 接続詞の用法を理解する。	
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	

				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	1	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	4	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0